



壱岐市

議会だより

第90号

令和8年
8月13日発行

7月26日(日)

壱岐郷ノ浦祇園山笠が盛大に開催されました

【主な内容】

6月会議で決めたこと	2	一般質問(12人が登壇)	6
令和8年度補正予算	3	市民の声	13
委員会レポート	5	議会だよりクイズ	14

議会の情報を発信中!

Facebook





～令和8年吉崎市議会定例会6月会議開催～

令和8年吉崎市議会定例会6月会議は、6月11日に再開、6月26日に散会し、16日間の日程で開催されました。

報告事項6件、条例の一部改正・廃止5件、計画の策定1件、令和8年度補正予算1件について審議を行いました。

6月会議で決めたこと

6月会議で決まった主な事業をを紹介します。（審議結果は4ページに掲載）

条例関係

◆吉崎市証紙徴収条例の廃止について



証紙については、戸籍及び税証明等の申請窓口と証紙販売窓口が異なり、市民の皆様に負担が生じていたため、証紙による収入の方法を廃止し、キャッシュレス決済等による手数料の徴収方法へ移行する。

（写真はイメージ）

◆サンドーム吉岐条例の廃止について

遊休施設となっているサンドーム吉岐（本館）を、民間が保有するノウハウや資金を最大限に活用した新たな企業の促進や雇用の創出など、地域の活性化に資する利活用を図るため、公募型プロポーザルを実施し、貸付けを行う。なお、屋内競技場は、体育施設として継続し、体育・スポーツの振興及び市民の健康増進に取り組んでいく。

主な改正内容

- （1）民間事業者に貸付けを行うため、サンドーム吉岐条例を廃止する。
- （2）サンドーム吉岐の屋内競技場を体育施設とするため、吉崎市体育施設条例第1条第2項の表（体育施設の名称及び位置）と、第3条別表（使用料）に「湯本屋内競技場」を追加する。

令和8年度補正予算関係

令和8年度6月補正では、一般会計現計予算額に2億7,902万5千円を増額し、補正後の一般会計予算額合計は250億2,902万5千円となりました。



どんな予算のあと？

6月会議で決まった、主な補正予算を紹介します。

区域デマンド交通実証運行事業 1,453万5千円 新規

壱岐市地域公共交通計画の方針に基づき、陸上交通における区域運行・デマンド交通への転換を図るため、本格運行に向けた利用者、交通事業者からの情報収集及び課題の検証を目的に、デマンド交通の実証運行を実施する。



(写真はイメージ)

●事業内容

○事業費：14,535千円

- ①システム導入業務
- ②運行业務
- ③調査・分析業務

○補助率：国2/3（5,000千円までは定額）
市1/3

畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金 4,587万5千円 新規

畑作物産地における労働力不足による単収及び品質の低下等、品目・地域ごとに取り巻く環境が大きく変化しており、これらの変化に対応した持続的な生産体制を確立し生産性の向上と安定を図るため、設備導入等に対して支援する。

【施設・機械設備導入支援】

補助対象：壱岐市農業協同組合

- ① 機械導入（馬鈴薯移植機）
 - ・補助対象事業費：951千円（負担割合：県1/2）
 - ・補助金額：475千円
- ② 施設整備（馬鈴薯選果ライン一式）
 - ・補助対象事業費：83,680千円（負担割合：県1/2）
 - ・補助金額：41,840千円

①+②+③+④＝45,875千円



【ソフト事業に対する支援】

補助対象：壱岐市ばれいしょ産地づくり協議会

- ③ 水田馬鈴薯栽培実証等
 - ・補助対象事業費：395千円（負担割合：県10/10）
 - ・補助金額：395千円
- ④ 新商品開発・販路拡大
 - ・補助対象事業費：3,165千円（負担割合：県10/10）
 - ・補助金額：3,165千円

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
6月	報告第2号	苓崎市税条例の一部改正に係る専決処分の報告について	—	6月16日	報告済
	報告第3号	苓崎市国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の報告について	—	6月16日	報告済
	報告第4号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	6月16日	報告済
	報告第5号	令和7年度苓崎市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の報告について	—	6月16日	報告済
	報告第6号	令和7年度苓崎市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	—	6月16日	報告済
	報告第7号	令和7年度苓崎市下水道事業会計予算の繰越計算書の報告について	—	6月16日	報告済
	議案第32号	苓崎市監査委員条例の一部改正について	総務産業	6月26日	可決
	議案第33号	苓崎市証紙徴収条例の廃止について	総務産業	6月26日	可決
	議案第34号	苓崎市教職員宿舎の設置に関する条例の一部改正について	市民文教	6月26日	可決
	議案第35号	サンドーム苓岐条例の廃止について	総務産業	6月26日	可決
	議案第36号	苓崎市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	総務産業	6月26日	可決
	議案第37号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画(変更)の策定について	総務産業	6月26日	可決
	議案第38号	令和8年度苓崎市一般会計補正予算(第1号)	予算特別	6月26日	可決

●6月会議で賛否(賛成、反対)のあった議案

議 案 名 番 号	菊池弘太	酒井真吾	松本順子	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	山内豊	山川忠久	植村圭司	清水修	赤木貴尚	音嶋正吾	小金丸益明	中田恭一	中原正博	賛成	反対	結 果
議案第35号 サンドーム苓岐条例の廃止について	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	10	5	可決

土谷勇二議員は議長のため採決には入りません。

議案第35号：反対討論4件、賛成討論2件あり。



委員会レポート



総務産業常任委員会

6月会議で付託された議案5件については全て可決した。

【委員会意見】

議案第35号について

条例廃止後の管理運営を適切に行い、沓崎市全体の発展に貢献する事業として利活用されることを強く要望する。

利活用予定のサンドーム沓崎▶



市民文教常任委員会

6月会議で付託された議案1件については可決した。

予算特別委員会

6月会議で付託された議案1件については原案のとおり可決した。

全国市議会議長会特別表彰

音嶋正吾議員が市議会議員として、20年以上にわたって市政発展にご尽力されていることに対し、全国市議会議長会の特別表彰を受賞され、6月11日、議場において、土谷議長より伝達表彰が行われました。





一般質問

12人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



山川 忠久 議員

質問 新時代プロジェクトの進捗は

答 中間評価で軌道修正

山川 AIシミュレーションでオーバーツーリズム的な未来が示され、未決定の小中一貫校化が前提に含まれるなど、結果の妥当性や市民の生活実感とのズレをどう受け止めているか。

市長 壱岐の魅力を考えれば、インバウンド増加によりオーバーツーリズムになる可能性はある。小中一貫校化は直ちに実施するものではなく、市民の意見を聞きながら進めるための指標として入れた。

山川 2050年という長期目標に対し、現在の幹部は結果の責任を負えない。中間評価の時期や、想定通りに進まない場合の計画の軌道修正ルールはどう定めるのか。

総務部次長 次期総合計画の策定に着手する2028年、2029年を中間評価の時期とし、効果検証と軌道修正を一体的に進める。次世代を担う若い職員や市民の意見を直接聴取する場を設け、計画に反映させる。

山川 大規模な施設整備が必要になると思われるが、財源の確保は。また、協定を結んだ企業が将来PFIの事業主体になる場合、選定の公平性や透明性は確保されるのか。

総務部次長 施設整備の財源は国の補助金や起債のほか、ふるさと納税やPFI方式などを多角的に活用し市の負担を極力抑える。

また、特定のパートナー企業が有利になることはなく、事業実施時は公募等により適正な手続きを踏んで進める。



菊池 弘太 議員

質問 壱岐への来島を促すため、九州郵船と協調できないか

答 旅行会社が商品造成しやすい環境づくりを、観光連盟等と連携し、進める

菊池 九州郵船と契約のある旅行会社しか、採算の合う形で旅行商品がつかれない。様々なニーズに応じた旅行商品が造成しやすい環境を整備するため、福岡にある167社の旅行会社にアンケートをとれないか。

地域振興部長 九州郵船と旅行会社の契約条件は、民間の経営判断になるが、多くの事業者が公平に旅行商品造成できる環境は重要。福岡の旅行会社へのアンケートは可能で観光連盟とも相談して対応したい。

プレミアム往復乗船券の公平性について

菊池 国境離島交付金を活用した「プレミアム乗船券」のクーポンが受けられる施設が、連盟加盟

施設に限定され、連盟非加盟の施設がこの交付金の恩恵が受けられないのは不公平ではないか。

地域振興部長 このクーポンを利用できるのは、連盟への加入が前提で、加入は随時受け付けている。それぞれの経営判断もあるが、加盟していただき、一緒になって壱岐を盛り上げてほしい。

A Iが示す2028年の分岐を乗り越える施策について

菊池 2064年に人口2万人に回復するシミュレーションの最良シナリオの最初の分岐が2028年である。ここをどのように乗り越えるのか。

産業推進部長 新規就農者や機械設備の導入支援など稼げる産業の推進を農林課14名、水産課7名の体制で取り組む。

健康未来部次長 市民生活分野の取組が重要であり、若い世代の健康づくりと高齢者の介護予防を重点施策として進める。



音嶋 正吾 議員

質問 向都離村から向村離都への是正政策が急務

答 壱岐市の魅力を追い風に

音嶋 壱岐市は、少子高齢化・人口減少が進んでいる。A Iやエンゲージメントパートナーは、勿論、優秀な知識や知能を持っている。壱岐にいる若者の島外流出を防ぎ、優秀な人材をこの島で育み、市民主体となって、持続可能な社会とするための政策は。

市長 壱岐市は、福岡市にも近く非常にバランスのいい島。パートナー企業や大学等は市民の応援団であり、外からの刺激を受けることで、市民が壱岐のことを好きになり、可能性を持つきっかけとなる。未来予測のシミュレーションでも科学的な根拠が出てきた。近年、地方ローカル志向、地方の魅力を選ぶ人が増えており、壱岐市にとっては追い風である。今回の未来予測を分かりやすく

伝えることで、市民の皆さんが「壱岐で頑張ってみよう。」「壱岐で家族を作って永住しよう。」「定住しようという。」と思える流れを作っていきたい。

音嶋 壱岐新時代プロジェクトについては、市民に共に進んでいただきたい。市長の決意は。

市長 できることだけ言うのではなく、夢は語っていききたい。

市政を行う際に、4つのLの考えを大切にしている。1つ目のLが、L I F E (ライフ)、命。そして生活を守ること。2つ目がL I G H T (ライト)、明かり。市民の皆さんが希望を持てる政策を考えていく。3つ目がL I B E R T Y (リバティー)、自由。型にはまらずに自由な手法で考えていく。4つ目がL O V E (ラブ)。愛を持って政策を行っていくことである。



山内 豊 議員

質問 自主財源確保に
挑戦を！

答 入島税に関して前向きに進める

山内 昨年の12月会議で宿泊税について質問をしたが、その後の進捗状況は。

地域振興部長 宿泊税の導入については明確な方向性は定まっておらず、具体的な進展はない。

山内 独立した財源の確保を目指す試みとして、入島税の導入に苓崎市独自でチャレンジしてはどうか。

市長 総務省自治税務局の回答では、苓崎市でもやれないことはないとのことで、これから前向きに進めていく。

九州郵船(株)について

山内 ジェットフォイルの減便が10月まで延長になったが、その原因の主な理由として船員の不足があげられている。二隻体制回復の目処は。

副市長 現在多様な求人活動を展開し60件を超える問合せがあり、内定者を含めて10名の採用を予定している。しかし、有資格者については依然として不足しており当面は一隻体制が継続される。

山内 特殊手荷物(バイク)について利用者間で認識の相違があっている。分かりやすい情報提供を求める。

副市長 利用者が安心して利用できるように九州郵船(株)に申し入れを行う。

磐越道バス事故について

山内 部活動を頑張る子供たちの活躍を制限しない安全対策は。

教育長 部活動やジュニアのスポーツの移動は、理想を言えば公共交通機関や貸切バスでやるべきだが、実際経費などの問題もあることからできないことが多い。保護者の送迎やレンタカーの利用を排除しない中で、関係者に対して安全第一の運用を求めている。



酒井 真吾 議員

質問 市内の公園の数、
今後の整備、また周知で
きる対策は

答 今後遊具を含めた公園の再編成に
ついて検討する

社会基盤部長 公園内に遊具は109基あるが、一部破損等もあり、安全性の観点から使用中止にしている遊具もある。使用できる遊具は81基、使用できない遊具は28基あり、現在、詳しい状況把握を行うとともに、特殊な遊具以外は修繕を行い、適切な維持管理に努めている。また、市民のニーズに応え、より満足度を向上させていく為に、市報やホームページ等に、現在の公園、遊具の状況を含めて広く周知する。今後の公園、遊具の在り方、あるべき姿に対し、アンケート調査を実施する。

酒井 スクールバスの使用年数ごとの台数と更新について。

教育次長 導入後16年経過している車両が8台、

11年経過している車両が2台、8年経過している車両が2台となっており、昨年度に更新した2台を合わせると、計14台となっている。更新計画を策定しており、毎年2台ずつ更新していく。

酒井 旧芦辺中グラウンドの造成・整備について。

地域振興部次長 現時点において整備による活用は考えていない。また、大型バスの駐車場及びトイレの整備については現状を見つつ、見直しも含め研究していく。

公共事業の今後の展望について

酒井 公共投資の増減が建設業だけでなく、大きな産業の売上げと雇用に影響する。ぜひ公共投資を増やし経済を回していただきたい。

社会基盤部長 建設業は重要な柱となる基幹産業だというふうに認識をしている。必要となる事業については、厳しい財政状況の中でも、きちんと予算を確保しながら継続的に事業を進めていきたいと考えている。



植村 圭司 議員

質問 船員不足に対して市ができることは

答 「新奨学金」の制度検討を進める

植村 九州郵船だけでなく沓岐の物流に関する海運業に限定すれば、人手不足対策に市の支援が必要と考えるが。市ができることは何か。

副市長 船員不足は内航海運業界全体の課題。地元出身の若年層Uターンを促進する「ブリ奨学金制度」の制度設計を検討中。この制度で若者の地元定着をめざす。

ホルムズ海峡封鎖の沓岐への影響は

植村 報道等でシンナー不足や医療用の手袋不足等がよく見られる。沓岐でもオイルやタイヤ不足、各種資材高騰があると聞くと、市民への影響は。

産業推進部長 事業者経営や市民生活に広く影響を及ぼす可能性があるとの認識。相談等は寄せられ

ていないが、市の発注工事等で防水剤、塗装剤、プラスチック製品など納期遅れを確認。医療・介護分野では、診療やサービス提供に重大な支障の報告はない。関係機関や事業者との情報共有を通じ状況把握等に努め、必要な支援につなげられるよう努める。

「沓岐新時代プロジェクト」を実現させるには

植村 今年3月30日、沓岐新時代対話会が開催され、市総合計画に匹敵または上回るような計画「4つのみたとプロジェクト」と未来シミュレーション結果が示された。市民への周知がより必要ではないか。

総務部次長 沓岐新時代対話会の様子をホームページ等で公開し、改善もしてきた。

4つのみたとプロジェクトは、計画を作る段階から具体的に動かす段階へ入った。いかに多くの市民を巻き込み、共に行動していくかが重要。今後はさらに地域や団体、若者世代の活動の場など、より身近な組織へも積極的に出向いていく。



清水 修 議員

質問 物価高対策のプレミアム券の利用状況は

答 上限を10万セット販売して、95,000セット利用された

清水 物価高対策のプレミアム商品券は、どれくらい行き渡り完売したのか。残っていればその分は返納になるのか、販売延長はできないのか伺う。

産業推進部長 10万セット販売して、19,000人あまりの市民に行き渡っている。国の交付金は使い残しを返納する制度ではなく、実施した事業の実績に応じて公布される制度であり返納にはならない。昨年度の実績を改善して販売期間も長くしたので販売延長の計画は予定していない。

清水 残りの5,000セットを期間内に購入できなかった方への延長販売はできないか。

市長 市への交付限度額が4億4,000万の中に、沓岐市では5億8,000万使っているのだから余っているわけではなく、追加販売は考えない。

障害者の福祉充実について

清水 障害者の福祉充実に向けグループホームの

施設整備の補助金が可決され準備されているが、資材や人件費等の高騰の状況では沓岐病院の増築辞退に似た状況になりかねないので、成就できるよう取り組まれているか。

市民生活部長 この事業は国と県の補助を活用して、賄えない部分について市が整備費の一部を補助するもの。新たな補助制度や既存補助金増額は困難だが、施設の拡充は必要であるので人材確保等の運営面においての支援や該当する補助金など活用可能なものがあれば提供していきたい。

俳句の離島甲子園の開催について

清水 3月会議で可決された俳句の離島甲子園の取組状況について、開催の時期や場所、対象となる市内の子どもたちへの準備など伺う。

地域振興部次長 4月に全国離島振興協議会を訪問し大会参画へのアンケート調査を実施。市内では4月から「沓岐市俳句ポスト大会」と題して児童生徒への作品募集をしている。8月9日の登校日で募集を締め切り集計し、どのような交流事業にできるか検討して準備する。

清水 市内のより多くの子どもたちがこの事業に参加できるように、地域での協力団体や各学校へ参考図書資料を届けるなど予算の有効活用の検討を。



樋口 伊久磨 議員

質問 市内商工業者への支援は

答 商工会と連携し、支援に繋げる

樋口 市内商工業者の経営状況や、直面する課題をどのように認識しているか。

産業推進部長 物価高騰や燃油・電気等のエネルギーコストの上昇、人手不足や人件費の上昇など負担が増加している上に価格転嫁が容易でない状況であるなど、厳しい経営状況に置かれていると十分認識している。

樋口 物価高騰に対する新たな支援策はあるか。

産業推進部長 消費下支えプレミアム付き商品券事業は、3億8,000万円余りの地域内消費喚起と経済循環の促進による事業者支援につながると考える。今後の新たな支援策は、国の重点支援交付金等の動向を注視しながら適切な対応に努める。

樋口 販路拡大や壱岐ブランド強化策は。

産業推進部長 販路開拓とブランド力向上は、市

内事業者の所得向上や経営基盤の強化に直結する重要な取組であると考えているが、一朝一夕で成し得るものではなく、地道な取組を続けていく必要がある。

樋口 商工業者の声を丁寧に聞き、地域経済の持続的な発展に向けた積極的な施策の展開を。

二地域居住の推進について

樋口 住まいの確保は。

市長 空き家バンクや、民間の不動産事業者と連携して物件を紹介する体制の整備、宿泊事業者と連携して安価で長期滞在できるような宿泊施設活用の仕組みづくり等を検討する。

樋口 空き家の活用は。

市長 移住定住支援制度の見直し、空き家等管理活用支援法人や特定居住支援法人等と連携して、空き家のお試し居住施設や地域住民の方との交流施設等としての活用を検討する。

樋口 本市ならではの豊かな自然、温かい地域コミュニティという強みを最大限に生かした独自の二地域居住モデルが一日も早く実現することを期待する。



松本 順子 議員

質問 三島の移動販売の支援継続は可能か

答 本年度は市の単独事業として支援
次年度以降も予算の確保に努める

松本 フェリーみしまが令和9年に新建造される件は現在どうなっているのか。

副市長 点検・整備、法定検査や自主的メンテナンス継続により安全性と信頼性は確保されている。今後は船舶の状態や利用の状況を踏まえ、経営面にも配慮しながら更新時期等を慎重に検討し適切な時期に判断する。

松本 人口減少と高齢化で集落支援員の負担が大きい。人材や車両の支援はできないか。

地域振興部長 組織運営アドバイザーによる支援を展開したい。応援スタッフとして地域おこし協力隊制度等を活用した人材確保を検討したい。車両はまちづくり交付金の積立制度を活用すれば可能ではないか。

犬取締条例について

松本 野犬に対し無責任な餌やりをしている人への罰則を条例に追加できないか。

社会基盤部長 餌やり禁止の追加について、前向きに検討する。

松本 登録用紙に不妊去勢手術の有無、予定の有無の記載欄を追加できないか。

社会基盤部長 前向きに検討する。

松本 外飼いの犬が野犬との接触で望まぬ繁殖をしないよう、外飼いの犬限定で不妊去勢手術費用を助成し、条例で義務にできないか。

社会基盤部長 限定した場合の公平性・基準の明確化・対象の確認方法・病院との連携体制等の課題を整理し研究したい。手術は動物愛護法で義務としている。市では条例には追加せず、保健所と共に指導を強化していく。

松本 犬取締条例の規則で畜犬指導員の任務を強化できないか。（増員・島内巡回指導等）

社会基盤部長 現行の体制での対応の効率化、強化を進める。飼い方の周知も強化を図る。

物価高騰対策のプレミアム商品券について

松本 換金所を各町に置けないか。配布時のトラブルや市民への平等性から、今後は個別配達等の方法が良いのではないか。

産業推進部長 商品券事業は主体が商工会であるため、商工会の判断となる。今回の販売時の課題・問題を解決するための対策・仕組み作りを検討していく。



武原 由里子 議員

質問 郷ノ浦港駐車場の整備改善策は

答 有料化を含め県と連携協力を図る協議を

武原 駐車場整備における県との連携協力における課題と対策は。

産業推進部長 郷ノ浦港駐車場は県が管理する施設。整備計画の策定や管理方針などの決定権限は県にある。早期に効果が発現できる駐車スペースの確保、合同利用実態調査の実施、利用ルール策定と周知徹底を検討中。

武原 トイレ横「おもしろい駐車場」周辺（15分）を職員駐車場と思っている市民への周知は。

産業推進部長 早急に標記を変える。

武原 緑地帯を駐車スペースにできないか。

産業推進部長 市民の利便性を考慮し、県の責任において開放するよう要望中。

苓崎市航路対策協議会のあり方について

武原 公募委員の設置を含め交通弱者や女性の委

員増が必要ではないか。

副市長 追加委員構成について既に検討対応中。

武原 社会保険労務士や公認会計士を臨時委員として追加することは。

市長 九州郵船の労務・財務管理は九州運輸局が厳しく管理している。協議会では予定なし。

海事人材の確保・育成・定着及び航路維持戦略について

武原 船員有資格地域おこし協力隊員の受入れは。

副市長 活動内容が制度の趣旨に適合しているか、特定事業者の労働力の代替とならないかなど十分な整理が必要。

消防団協力事業所の優遇措置の拡大による団員の確保について

消防長 苓崎市においては、建設業、団体職員、医療・福祉施設等、17事業所が消防団協力事業所として認定を受けている。県下で、優遇措置拡大のため、消防団協力事業所に対する軽減措置等、県へ要望が出されている状況である。



赤木 貴尚 議員

質問 郷ノ浦港整備について

答 駐車場の混雑解消に向けて引き続き県と協議を進めていく

赤木 郷ノ浦港の駐車場について、現状、問題点をどのように把握しているか。

産業推進部長 郷ノ浦港においては、慢性的に駐車場が不足している。長期駐車している車両の存在も把握をしていて、繁忙期には水産課職員が調査を実施しており、5日以上長期駐車車両に対しては貼り紙にて注意喚起を行っている。駐車スペースの確保として、以前駐車場として利用されていたジェットfoil乗船手前のスペースの開放を求める意見もある。市としてもターミナル周辺での抜本的な改善が必要と考える。郷ノ浦港は、県が管理する為、5月26日に県土木部長へ要望書を提出し、今後は県知事に対しても、同様の要

望を行う予定。今後とも、市民の皆様の安全と利便性の確保のため、早期の改善に向け県と協議する。

赤木 長崎県選出の加藤竜祥国土交通省政務官への要望を行ってはどうか。

市長 お話しする機会があれば現状を伝える。お力添えをいただくと助かる。

赤木 郷ノ浦港全体の整備が必要。加藤政務官への働きかけも協力する。

小中学生の学校での熱中症対策について

赤木 苓崎市内小中学校に水筒補水の為の冷水機設置を。

教育長 中学校は4校中3校に6台、小学校には設置なし、補水用冷水機は良いと思うが安全性等を研究が必要。まずは熱中症対策として特別教室のエアコン設置を完了する。



山口 欽秀 議員

質問 デマンド交通型システムにどう転換

答 実証運行を通じて取り組む

山口 日中の高齢者の通院・買い物等の日常生活を支えるコミュニティ交通の整備について、壱岐交通との協議は進んでいるのか。

副市長 新たな運行形態の導入ができる路線の整備を進めていく。将来の路線維持のあり方について情報共有と意見交換を進めている。

山口 区域運行デマンド交通への転換をどう進めていくのか。タクシー業者との協議は進んでいるのか。

副市長 運行主体や運行区域、予約方法は今後策定を進める。実証運行で利用ニーズ、課題を検証する。

山口 デマンド型交通は乗り合いタクシーになるのか。

副市長 予約制の乗合で平日、土曜日に2ゾーンずつ午前8時から午後1時まで、3ヶ月間実証運行する。利用料は1回500円で全市民が対象となる。

壱岐空港の特定利用空港指定について

山口 特定利用空港指定とはどういうことか。

副市長 国が平素から自衛隊や海上保安庁が円滑に利用できるような環境を整えておくもの。

山口 市長はどのような考えか。

市長 災害発生時における迅速な救助活動や物資輸送体制など防災対応の向上に繋がる可能性がある。

山口 自衛隊が有事の際に円滑に利用する動きでは。軍事施設化が進むのでは。

市長 国から示されている制度の趣旨においても、自衛隊の常駐化を行うものではないとされている。今後も注視していきたい。

山口 オスプレイの墜落や騒音など心配される。

市長 国や県への説明会の開催を要望していきたい。

意見交換会報告

●総務産業常任委員会と壱岐市観光連盟

日 時：令和8年6月12日 午後1時30分～

参加者：議会 総務産業常任委員会委員長 植村 圭司 ほか 委員 6名
壱岐市観光連盟会長 下条 正文氏 ほか 6名

合計
14名

◆意見交換会の議題

**九州郵船の減便問題について
観光行政全般について**

出席議員からの報告（一部抜粋）

●九州郵船の減便問題について

- ・壱岐市航路対策協議会で明らかになっている事実を市議と観光連盟関係者で共有し、両者の間で問題意識の確認ができた。減便により、島内経済に与える影響が大きいことが改めて分かった。
- ・JF1隻体制の結果、フェリーとJFの始発出港地が郷ノ浦港に集中し、駐車場の狭隘と逼迫が顕著となっている。よってこの解決が急がれると痛感している。

●観光行政全般について

- ・博多までは多くの外国人観光客が来ているのだから、壱岐に呼べるようなインバウンド計画を官民連携して進めるべきである。
- ・多様な観光客の受入環境の整備の必要性を感じた。
- ・観光地だけでなく、道路やその周辺も壱岐島全体を観光資産として磨き上げる必要がある。



行政視察へ行ってきました

議会運営委員会

視 察 先：YAMAGA BASE、山鹿市議会

日程：5月14日～15日

視察内容：小学校跡地の利用について

山鹿市議会における取組（議員による出前講座・議会基本条例）

YAMAGA BASE

山鹿市の旧千田小学校をリノベーションして作られたコワーキング・宿泊・イベント・交流を組み合わせた複合施設。官民連携による施設の運用がなされており、大変参考になる好事例であった。

このような遊休資産の活用について調査研究を深め、民間の資源やノウハウが集まるような取組を推進できる方法を考えていきたい。



山鹿市議会

「議員による出前講座」を実施し、絵本を活用した主権教育を議長先頭で行っている。また、イベントにおいて、議員がブースを設けるなど、「敷居の高さを低くする」意識が感じられた。このような取組が投票率向上へとつながり、政治が身近なものとして認識されるよう、壱岐市議会として参考にすべき事例であった。

「議会基本条例」については、両市議会とも制定済みであるものの、一部形骸化している側面も見受けられる。現在の取組に対する検証が不可欠であり、今後も研究を続けていきたい。



市民の声

「議会だより第89号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

観光名所の看板
が古くて読みづらいの
があります。(75歳)

議会だよりで行政視察に行かれ壱岐にとっ
て有意義になる事は取り入れてほしいですね。
今の壱岐の高齢化・少子化・移住問題はこれ
からもしっかり考えてほしいです。(56歳)

「議会だより」はわ
かりやすく、いつも読
んでいます。スタッフの
皆様の御努力に感謝
します。これからも頑張
ってください。(65歳)

3月末で退職したので、議会だよりをじっくりとゆっく
りと読む時間が増えました。市制がわかりやすく説明して
あって、読みやすいですね。(61歳)

暑期中沿道の草とりお疲れ様です。
すっきりとしていくようす気持ちいいで
す。ありがとうございます。(74歳)



クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



新規採用職員紹介

Q1 7月26日吉岐郷ノ
浦〇〇山笠が盛大
に開催されました。

Q2 6月会議で一般質
問を行った議員は
〇〇人

Q3 議会運営委員会は、
〇〇市へ行政視察
に行きました。

前回クイズの答え

- ① 市民生活
- ② 9
- ③ 消防団

前回クイズの当選者

松永伊穂子 様
大澤 秀則 様
村上佐和子 様
平田 節雄 様
平田 公子 様
おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望など
お書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分を
お贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉岐市勝本町西戸触182-5 吉岐市議会事務局宛

《しめきり》 令和8年9月11日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

梅雨が明け、吉岐の美しい海が一段と輝き、観光客の歓声が響く賑やかな季節を迎えました。一方で、猛暑や豪雨など自然環境の変化にも十分な備えが求められています。

今号の「議会だより」では、6月会議での一般質問や、予算・条例の審議内容について、できる限り分かりやすくお伝えできるよう、広報委員会で議論を重ねてまいりました。吉岐の豊かな自然や伝統が次の世代へと引き継がれていくよう、議会では産業の活性化や暮らしの安心について多様な視点から議論が交わされています。

帰省や観光で島が賑わうこの時期、改めて私たちの郷土・吉岐の魅力と、抱える課題に向き合うことの大切さを感じています。市民の皆様は「伝わる」議会だよりを目指し、今後とも分かりやすい情報発信に努めてまいります。厳しい暑さが続きますので、皆様どうぞご自愛ください。

樋口 伊久磨



編集後記

議会広報特別委員会
委員長 酒井 真吾
副委員長 中田 恭一
委員 菊池 弘太
松本 順子
樋口 伊久磨
清水 修
赤木 貴尚
音嶋 正吾

お知らせ

吉岐市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行政
報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くこと
ができます。また市議会会議録は、議会事務局・
市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用くだ
さい。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の金品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。

市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

吉岐市議会議員一同

発行責任者 議長 土谷 勇二
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉岐市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

